

入会式

上野 浩

うえの ひろし

事業所：(株)エプセル
住 所：川口市南前川 2-25-16
役職名：取締役



●ようこそ

①川口市役所障がい福祉課佐久間優樹様がお越し下さり、障がい者差別解消法に関するお話がされました。



②川口ローターアクトクラブの今年度会長の時枝晴香様と幹事の四ツ屋勇樹様をご挨拶にお越し下さいました。



今週の当番

SAA 青木徹委員



出席委員 矢口順一委員・柳和弘委員長



ニコニコ委員 朝日恵子委員・境亮一委員



出席報告

本日分 7月18日
会員数 92名
会場参加 51名
Make-Up 4名
出席率 65.48%

幹事報告 大竹純幹事

幹事報告をご覧ください。
●8月22日の例会は、アルディザンドウラトリュフでの納涼会になります。
●30日18:00より海老家味可久門にて会員増強委員会があります。全委員長と増強委員が対象になります。
●8月1日13:40より社会奉仕委員会があります。
●8月の理事会は8日になります。
●地区関係で8月1日に11:00よりフレンディアにて地区大会実行委員会があります。

例会予定

◎8月8日 定例会
場 所 / フレンディア
点 鐘 / 12:30~13:30
卓話:
青少年交換留学生 増井真子さん
留学報告

※15日は休会です

◎8月22日 納涼会
場 所 / アルディザンドウラトリュフ
開 会 / 18:00~

●事務局
〒332-0012
川口市本町1-18-5 NTTビル1F
TEL 048-222-0124
FAX 048-222-0118
http://www.kawaguchi-rc.com
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp

Rotary

国際ロータリー第2770地区
第11グループ



2024-2025 KAWAGUCHI ROTARY CLUB

WeeklyReport

●第3108回 定例会

No.03

2024年8月1日配布

2024-2025 年度
会長: 請川 かおり
幹事: 大竹 純



会長挨拶

会長 請川 かおり

7月は「母子の健康」月間です。

みなさん、NHKの大河ドラマの「光る君へ」ってご覧になっていますか?ドラマの主演は源氏物語の作者の紫式部ですが、小学校の社会でも習う平安時代の有名人と言えば、藤原道長ですね。「この世をば我が世とぞ思う 望月の 欠けたることもなしと思えば」という、不遜な歌を詠んだとされる大貴族です。そもそもこの道長という人は、お父さんの兼家の本妻の3番目の息子で、それほど期待された人材ではなかったようです。事実、長男である道隆が兼家の後を継ぎ、その道隆は自分の娘の定子を一条天皇に嫁がせませす。定子という人は才気煥発で美しい人だったようで、その後宮には、春はあけぼの、で有名な清少納言も務めていましたし、一条天皇は他に何人女御がいようととにかく定子一筋、という事だったようです。しかし、定子は後ろ盾となる男性の肉親に恵まれず、父の道隆は糖尿病で早くに亡くなるし、兄たちも若いうちに政界から失脚してしまいます。定子は権力争いにもまれながらも子どもを2人産みます。2番目の子は皇子でした。定子にとっては、権力者の子どもを産むことが、政治の世界で生き残るたった一つの方法だったわけです。道長はというと、兄である道隆と道兼が相次いで亡くなり、棚からぼた餅的に自分に運が回ってきたので、自分の娘の彰子を一条天皇に嫁がせませす。この時、彰子は若干12歳だったそうですが、そんなに嫁入りを急がせるほど、道長は定子に対して危機感を持っていたという事です。紫式部はこの彰子の後宮に就職します。ちなみに清少納言と紫式部は宮中にいた時期がずれているので、面識はないですし、ましてや大河ドラマのように二人が親友同士というような事はあり得ない事です。むしろ紫式部は清少納言のことを、自慢たらしで浅はかな女、と日記に書いています。またドラマでは道長と紫式部が相思相愛の幼馴染、という設定ですが、どうなることか、この先のドラマの展開が楽しみです。

話を戻しますと、定子は3人目の子どもを産みますが、そのお産が原因で亡くなります。24歳の若さだったそうです。定子が亡くなり、その後、成長した彰子が一条天皇の皇子を産んだことで、やっと道長は政治の権力を手中に収め、世にいう摂関政治を行い、自分の時代は満月のようにかけることがないだろう、と言い切るまでに上り詰めますが、その陰で、いつの世も女性というのは政治の争いの道具にされ、それは政権者の子どもを産めるかどうかという、自分の命をかけて成し遂げないといけない大仕事だったという事実があります。

医療が進んだ現代の日本でも1年間で30人~60人の妊婦さんが出産時に亡くなっています。また、マタニティブルーと言われる産前産後のうつも問題になっています。

世界中のすべての母子が質の高い医療を受けられるよう、また、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと、成長できるよう、ロータリーは支援活動を行っています。財団への寄付金はこのような活動に使われているという事も付け加えて、会長挨拶といたします。